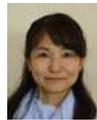


後援会だより

「子どもの母校は我が母校」
「後援会だより」は後援会が保護者の皆さまと作るページです。

首都圏父母懇談会報告 市ヶ谷キャンパス



副実行委員長 磯崎 恵美子 (風経営学部)

10月7日(日)に、市ヶ谷キャンパス首都圏父母懇談会が開催されました。連休の中でしたが、事前の申し込みを上回る1043人の保護者の皆さまが来場されました。恒例となっている学生の企画(キャンパスツアー、似顔絵サービース、ミニコンサート)のほか、特別見学会(今年度は沖繩文化研究所)、就職個別相談会、学部学科別懇談会、食堂でのランチ体験などは、毎年好評をいただいています。

ポアソナード・タワー26Fスカイホールでは、ジャズ研究会とアカペラサークル「BeBar!」によるミニコンサートが開催されました。両サークルの素晴らしい演奏は、来場者の皆さまに大好評でした。お天気もよかったですので、ポアソナード・タワーからの景色などもお勧めしました。

メインイベントは、薩摩ホールでの田中優子総長による『自由を生き抜く実践知』(長期ビジョン(HOSEI2030)について)の講演です。法政大学は、ダイバーシティ推進を宣言し、その実現に向けて積極的に取り組んでいます。また、自由を貫いて世界を生き抜くために「実践知」を大切にしていくというお話をいただきました。「法政大学をいい大学にしましょう」という結びの言葉が締めくくられ、大盛況のうちで終わりました。

父母懇談会開催に当たり、ご指導ご協力を賜りました大学職員の皆さま、ご来場いただきました保護者の皆さまに心より感謝申し上げます。



首都圏父母懇談会報告 小金井キャンパス



副実行委員長 石橋 久美子 (沙也花理工学部)

10月14日(日)に小金井キャンパス首都圏父母懇談会が開催されました。小金井キャンパスでは父母懇談会の内容の充実を図るため、毎年新しい企画に取り組んでいます。

本年度は、全ての学部学科の研究室を開放し、来校された保護者の方々に小金井キャンパスの技術力をご覧いただきました。お子さまが所属する「学部学科別キャンパスツアー」に参加され、熱心に先生方や学校職員のお話を聞いている保護者の皆さまの姿がとても印象的でした。

午後の全体会では、尾川浩一副学長と廣津登志夫情報科学部長、金井敦理工学部長、渡部靖夫生命科学部長の3学部長による講演が行われました。尾川副学長からは長期ビジョン「HOSEI2030」と理系総合キャンパスについて構想が語られ、各学部

長からは学科の特徴や現状の取り組みについてお話いただきました。短い時間でしたが、子どもたちが何を学んでいるのか垣間見えたように思います。

キャリアセンターからは就職についてのお話があり、保護者の皆さまが真剣に聞き入っている様子が見られました。学科別説明会を行った後は、東館地下1階の生協食堂で懇親会も開かれました。教職員、学校関係者との交流の機会に、多くの保護者の方々がご参加くださり、盛大に終わることができました。

最後になりましたが、開催にあたり多くの皆さまにご協力いただきましたこと、深く感謝申し上げます。



首都圏父母懇談会報告 多摩キャンパス



副実行委員長 高野 律子 (賢スポーツ健康学部)

10月20日(土)、多摩キャンパスでの首都圏父母懇談会が開催されました。テーマは「学び×自然×多摩キャンパス」。当日は天候に恵まれ、父母懇談会と同時に学生主体の「自主法政祭」が開催されていたこともあり、多くの来場者でキャンパスは活気にあふれていました。

木々が色づき始めた広大なキャンパス内を、通称「青バス」と呼ばれている無料循環バスを利用して、自由に見学しました。学生スタッフによるウォークツアーもあり、学生生活のエピソードを交えながらの案内は、参加者から好評でした。

図書館、体育棟の案内や個別相談では、職員の方が丁寧に対応してくださいました。また、学食体験も盛況でした。

全体会では『自由を生き抜く実践知』(長期ビジョン(HOSEI2030)について)をテーマに、増田正人副学長による講演が行われました。2030年に創立150周年を



迎える大学の進化に期待が膨らみます。

キャリアセンターからは直近の就職状況などの説明があり、保護者の皆さまが熱心にメモを取る姿に、関心の高さがうかがえました。

その後は学部別懇談会。子どもたちの日々の学習や生活の様子、資格取得や就職活動のスケジュールなど、学部ならではの話を聞くことができました。

懇親会は、保護者の皆さまと大学関係者がそれぞれ気軽に話をしていただける場です。和やかに歓談の時を過ごし、恒例の全員で肩を組んでの校歌斉唱をもって閉会となりました。

最後になりましたが、ご来場の保護者の皆さま、開催に当たり、ご指導ご協力を賜りました関係者の皆さまに心より感謝申し上げます。



野球観戦と 市ヶ谷キャンパス見学



高知県支部長 岡林 輝秀 (輝法学部)

10月6日(土)、高知県支部では市ヶ谷のキャンパス見学と「昨年の東京大学戦のリベンジをした」という思いで楽しみにしていた東京六大学野球観戦を開催しました。

今年の参加者は少人数ではありませんが、持ち前の明るさと「はちきん※」パワーで盛り上がりました。

野球観戦の当日は快晴で、強い日差しは私の顔を見事に真っ赤に焼いてくれました。そんな暑さの中で立教大学戦も熱く燃え、いい感じで打ち取り、三振も取り、点を取っては盛り上がり、内容は肩を組んで歌い、昨年の無念を吹き飛ばすことができました。昨年は初めての参加で応援の作法がよく分からず、試合よりも応援団を見て指示に従うことで精いっぱいでした。しかし、今年中は余裕もでき、試合中のプレーも見ながらの応援ができました。二度、三度と参加することで要領を得て、より楽しめること

を支部の皆さまにも伝えたいと思います。

続いては、榎石賢二後援会副会長の解説によるキャンパス見学ツアー。人数と時間の関係で市ヶ谷キャンパスのみを見学しましたが、初めて訪れた参加者からは「きれいな景色だ」「すごい」との感動の声が連発。55年館について「この外観、窓の形をよく覚えておいてください」と、解体を匂わせた説明を聞きながら「今年ヤニ少しひねりが利いている」と二人ニヤニヤしておりました。

来年は、多摩や小金井のキャンパスにも行けるように多くの参加者を募り、法政大学をより理解して後援会活動を盛り上げるよう努力します。お世話になりました本部の方々、大学職員の方々この場をお借りしてお礼申し上げます。ありがとうございました。

余談ですが、ある参加者は法政の応援歌「チャンス法政」が頭の中で延々とリピートしていたそうです。



※はちきん:男4人分くらいの強さを持つ高知県女性の県民性を意味する土佐弁

これぞオトナの遠足！ 学生時代にタイムスリップ！初キャンパスツアー！



岡山県支部長 奥谷 敦子（賢／キャリアデザイン学部）

10月6日（土）、7日（日）、岡山県支部初のキャンパスツアー＆スポーツ観戦を企画いたしました。前日から遠足気分ワクワク感が止まらず、久しぶりの若返り体験を味わってました。

昨年、支部長会議でキャンパスツアーのことを伺ったときから「絶対にやりたい！」という思いがあふれ、他の支部長（特に広島県支部長）にヒアリングしたり、副支部長と相談したりしながら「今年こそ、絶対に実施する！」と心に決めておりました。

無事に終えてみると、結果は大盛況！大好評！「もっと早く実施すればよかった」と思うほどの収穫がありました。



6日は、市ヶ谷と小金井の両キャンパスツアーに参加。夕方からは、現役学生を交えて懇親会を開きました。大学や後援会本部からもご参加いただいたので、学生

が抱える不安や悩み事、父兄ならではの心配事を気軽に質問できる時間が取れ、「子どもは我が母が母校」を実感できました。



翌日7日は、明治神宮野球場で行われた法政大学対立教大学の試合の応援に。初めて東京六大学野球を観戦し、応援団リーダー部、吹奏楽部、チアリーディング部勢ぞろいの応援にも参加し、おそらく子どもたちよりもたくさん校歌を熱唱したのは（笑）。応援のテーマ「結束」を感じられた試合で、9回裏には奇跡の逆転劇でまさにミラクルを目の当たりにし、いつ何時でも「諦めない勇氣」を見せてもらいました。今回参加いただいた方々からも「来年から絶対に行きたいですよ！」「お声をたくさんいただいています。最後になりましたが、後援会本部の皆さま、大変お世話になりました。岡山県支部のキャンパスツアーは、永久に不滅です！」

キャンパスツアーと 感動のスポーツ観戦報告



沖縄県支部長 比嘉 秀樹（秀海／法学部）

沖縄県支部では、10月6日（土）に多摩キャンパスと市ヶ谷キャンパスの見学、7日（日）に東京六大学野球応援ツアーを開催しました。

出発前に大型の台風25号が沖縄本島を直撃して、空の便の欠航が報告される中、担当職員と何度も連絡を取り合いながらの出発となりました。

1日目の朝は、雲ひとつない晴天となり、バスに乗りながら緑あふれる広大な多摩キャンパスを見学。お昼ご飯を学食でいただきました。

その後、電車で市ヶ谷キャンパスへと移動。ポアソナード・タワー、外濠校舎の薩埵ホール、富士見ゲートのオレンジホール、大教室などを見て回りました。近代的な設備や素敵なデザイン校舎で学ぶ子どもたちをうらやましく思いました。ポアソナード・タワー25階の会議室で夕方から開催した懇親会には、父母と学生、大学関係者合わせて24人全員が参



加、子どもたちと共に楽しいひと時を過ごしました。



2日目は、明治神宮野球場で念願だった東京六大学野球（法政大学対立教大学）観戦することができました。事前に買い込んだ法政大学のオレンジTシャツに身を包み、応援に臨む準備も万端となったところでプレイボール。試合は初回から点の取り合いで、息つくひまもない試合の流れに、私たちも声を張り上げて応援しました。

5対6の1点差で迎えた最終回では、なんと逆転サヨナラ勝ちという素晴らしいプレゼンテーションをいただきました。肩を組み、何度校歌を誇らしく歌ったでしょうか。感動のあまり涙があふれ出ました。

このような素晴らしい機会をいただき、とても幸せでした。私たちがサポートしてくださった担当職員の倉本英治課長、山本洋輔さん、本当にありがとうございました。

市ヶ谷キャンパス見学と 東京六大学野球応援



茨城県支部長 三輪 和夫（達也／社会学部）

茨城県支部では、10月7日（日）に、市ヶ谷キャンパスツアーを実施し、併せて同日に明治神宮野球場で東京六大学野球（法政大学対立教大学）の応援を実施しました。キャンパスツアーには14人、野球応援は15人の会員が参加しました。



市ヶ谷キャンパスツアーでは、校舎が非常に入り組んでいるところを本部役員の方が分かりやすく案内、説明をしていただき、参加者には大変好評でした。これから解体される55年館では自分の大学時代を思い起こし、何かなスタルジックな気持ちになったとの声が出ました。最先端の技術によって建設されているポアソナード・タワーでは、現代的な建築や最上階から見られる東京都中心部の絶景に、驚嘆の声が上



がっていました。市ヶ谷キャンパスツアーに参加された会員がほとんど集まった野球応援では、白熱した試合を観戦することができて、一同大満足でした。応援団やチアリーダーの気迫あふれる応援に、当初は押され気味だった会員たちも次第に白熱し、最後は一体となって法政大学の選手諸君を応援できたと思います。その結果、前週の慶応大学戦で悔しい思いをした選手たちが大いに奮起してくれて、優勝争いに踏みとどまる貴重な勝利を挙げられました。優勝ですが、しばらく遠ざかっていた野球部ですが、チーム全員で戦っていたこの試合を見て、東京六大学の名門の復活は間近と感ずきました。

箱根駅伝・オレンジエクスプレスを沿道で応援しよう!

《オール法政 箱根駅伝応援のご案内》

法政スポーツコミュニティ（HSC[®]）では、2019年1月2日（水）、3日（木）に開催される第95回東京箱根間往復大学駅伝競走（箱根駅伝）の応援を企画しています。皆さまと一緒に沿道をオレンジ色に染めて、選手たちに熱い声援を送りましょう。応援場所は、大手町～箱根～大手町までの各所に設定します。法政大学の「オレンジ色ののぼり旗」が目印です。

詳しくは、HSCウェブサイトをご覧ください。（12月中旬以降掲載予定）。

<http://hosei-sports.jp>



■日時

2019年1月2日（水）8:00 大手町スタート（往路）
2019年1月3日（木）8:00 芦ノ湖スタート（復路）

■主な応援場所（予定）

大手町、蒲田、生麦、横浜駅周辺、大磯、小田原、箱根 その他

皆さまの参加をお待ちしております。

※HSCとは、法政スポーツを応援する喜びを感じていただくためのコミュニティで、法政大学の体育会本部、後援会、校友会、教職員で運営しています。